地域おこし協力隊通信

Vol.65

いすみ市 地域おこし

地域おこし協力隊とは?

条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から 地域の活性化に意欲のある人材を「地域おこし協 力隊 | として受け入れ、地域課題の克服とともに 本人の定住化を図ろうというものです。

いすみ市地域おこし協力隊

大原庁舎(2階)企画政策課内

☎62−1382

小池 優作

するべく奮闘していきます。

バッグなどを作り、市の名物に ラッシュアップや、革小物や

山のゴミ拾い活動

ですが、

一歩山に入るとゴミが

いすみ市は自然がとても豊か

☎080-2131-4853



農作物被害などを減らすため、 キョンやイノシシなどによる

猟を学び、中学生を対象にした 供している「Hunt +」にて狩 有害鳥獣対策を学び、実践して 狩猟体験を開催しました。 でグランピングや狩猟体験を提 昨年一年間は、いすみ市山田

メインミッションは 有害鳥獣対策

おこし協力隊の小池です! こんにちは、 いすみ市の地域

利活用することもはじめていま 直近では、僕が捕獲したイノ 有害鳥獣をあますことなく、

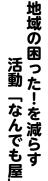
シシの革を使い、ベビーシュー

ズの試作品を作りました。

今後は、ベビーシューズのブ

革の利活用を進める

現在は月に2回ほど行っていま 活動をしていけたらと考えてい め、みんなで山のゴミを減らす ではありますが、いつか少しず つ同じ志を持ってくれる方を集 一人で行っている小さな活動



すべく、「なんでも屋」として 地域の方の「困った!」を減ら の活動も展開しています。 最近は活動の制限のある中、 め、山のゴミ拾い活動をはじめ、 散乱している場所があります。 そこで、豊かな自然を守るた

> すでに50件ほどのお手伝いをさ 屋」ですが、ありがたいことに、

5月頃から始めた「なんでも

よろしくお願いします! せていただきました。 れば、お気軽にお電話ください すので、なにかお困りごとがあ 今後も継続的にやっていきま





写真の説明

①地域おこし協力隊 小池優作さん ②イノシシ革ベビ-シューズの試作品 ③山のゴミ拾い ④なんでも屋活動での 草刈り時の写真